

週末は武陵祭(文化祭・体育祭)です。 文責 学校長



～コロナ・熱中症に負けずに心の距離を密にして～

1 今年の武陵祭のテーマは「It's Show Time ～創る未来 映える青春～」です。

9月2日(金)から武陵祭に向けて本格的に準備・練習が始まりました。まだ残暑厳しい中、またコロナ禍の中ではありますが、各団のリーダーを中心に思い出に残る武陵祭を創るべく奮闘しています。文化祭では文化部や各学年ごとの展示・パフォーマンスを創り上げるべく「互いの距離は取りつつも、心の距離を密にして」取り組んでいます。1・2年生の保護者様には両日とも学校に参観していただくことはできませんが、ケーブルテレビの番組でお楽しみください。なお、文化祭の武雄市文化会館でのステージでの発表の様子は「Zoom」で配信する予定です。

2 美術部の諸君が武雄温泉駅前商業ビル・ガラスアート企画に挑戦しました。

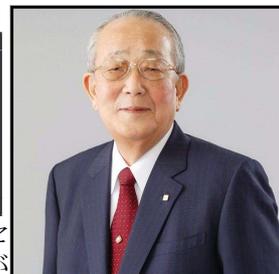
9月23日(金)に新幹線長崎ルート(武雄温泉一長崎間)が開業します。それに向けて様々な企画・イベントがスタートしていますが、開業後は武雄温泉駅はこれまでの北口から南口がメインゲートとなり、南口に新しくオープンする店舗も増え、新幹線開業後の賑わい創出が着々と進んでいます。その店舗の依頼を受け、本校美術部の諸君が武雄温泉駅前商業ビル・ガラスアート企画に挑戦しました。「新幹線のある風景」をテーマに地域の方や観光客にアピールして、地域活性化に繋げる目的で、武雄温泉を訪れる観光客をアートでおもてなしします。駅南口周辺はまだまだ工事中のため、お披露目は開業間近になる予定です。お立ち寄りの際は美術部の諸君の力作をぜひ一度御覧ください。



3 今週の名言・・・稲盛和夫氏の言葉です。

○「人生とはその「今日一日」の積み重ね、「いま」の連続にほかなりません。」

○前向きの姿勢で 熱意に満ちた努力を重ねれば、たとえ才能に恵まれていなくても、素晴らしい人生を送ることができるようになります。



【解説】8月24(水)、午前8時25分、京都市内の自宅にて、老衰のために永眠された京セラ・名誉会長、稲盛和夫氏の言葉です。昨年度の第11号でも稲盛氏の名言「運命的な出会いが人生をつくる」等の名言を紹介しています。京セラやKDDIを設立し、大企業に育て、経営破たん危機にあったJAL(日本航空)を立て直し、その経営手腕で経済界のトップリーダーとして活躍している稲盛和夫氏の言葉。経営者の傍ら、私財を投じて「稲盛財団」を設立し若い研究者を育成しつつ若い経営者が集まる経営塾「盛和塾」の塾長として、経営者の育成に心血を注いだ人でもありました。九州大学伊都キャンパスにも「稲盛財団記念館」が立てられています。稲盛氏が人を接待する時は「吉野家」をよく使ったというのは有名な話で、決して贅沢な食事で人をもてなすことを潔しとしなかった高潔な人でもありました。まさに、日本経済の立役者の一人であり、日本のために生涯を捧げた人生でもありました。ご冥福をお祈りします。

4 今週の話語・・・「将を射んと欲せば先ず馬を射よ」【問題】英語で表現すると？

目的のものを手に入れるためには、まず目標の周辺のものをおさめるのが有効だというたとえ。敵将を射ようと思うなら、まず敵将の乗っている馬を射止めよという意から。「将を射んとせば先ず馬を射よ」ともいう。相手を屈服させる、または意に従わせるようにするためには、まずその人が頼みとしているものから攻め落としていくのが良いというたとえ。(出典：杜甫『前出塞九首』より)



【由来】敵の大將を屈服させるには、まずその大將が乗っている馬を射れば良いということから転じて、目的を達成するためには、まず周辺から片付けていくのが成功への早道だという意味。杜甫の詩『前出塞九首』にある「弓を挽かんとせば当に強きを挽くべし、箭を用いんとせば当に長きを使うべし、人を射んとせば先ず馬を射よ」から。「将を射んとせば先ず馬を射よ」ともいう。

5 入試によく出る漢字(その46)・・・センターテスト(1994年度追試験)に挑戦!

- (1) ニン意にきりわけることを許さない、[①あの地方はニン情があつい。②正しい避ニンの知識を学ぶ。③彼は社長を解ニンされた。④何事もニン耐が大切だ。⑤知事のニン可が必要だ。]
- (2) ひとつながりのノウ密な現在が経過する。[①一番機はノウ霧のため欠航した。②ノウ品は期限内にしてほしい。③それは首ノウ会議にまかせる。④彼女は有ノウな経営者だ。⑤ノウ業政策はむずかしい。]
- (3) 絶タイに見わけることができない。[①水泳の前には準備タイ操をせよ。②映画の優タイ券が手に入った。③借金には連タイ保証が必要だ。④大学はタイ慢な学生に手を焼いた。⑤意見は激しくタイ立したままだ。]
- (4) シツ走している人間のひと足ひと足は、[①モウセンゴケはシツ地帯の植物だ。②小舟はシツ風に翻弄された。③飛行機はシツ速して落ちた。④シツ筆中は面会謝絶だ。⑤月が隠れシツ黒の闇となった。]
- (5) ふしぎな逆セツをはらんでなりたっている。[①昨年のセツ辱を果たす。②あれが火災後の仮セツ校舎だ。③競技中に転んで骨セツした。④仮セツは発見の前提である。⑤腕の関セツがはずれた。]

6 今週の一冊・・・伊坂幸太郎の『マイクロスパイ・アンサンブル』(幻冬舎)です。

どこかの誰かが、幸せでありますように。失恋したばかりの社会人と、元いじめられっこのスパイ。知らないうちに誰かを助けたり、誰かに助けられたり……。ふたりの仕事があつて交錯する現代版おとぎ話。付き合いだした彼女に振られた社会人一年生、どこにも居場所がないいじめられっ子、いつも謝ってばかりの頼りない上司……。でも、今、見えていることだけが世界の全てじゃない。優しさと驚きに満ちたエンターテインメント小説! 猪苗代湖の音楽フェス「オハラ☆ブレイク」でしか手に入らなかった連作短編がついに書籍化!

(参考:本書裏表紙説明より)



【解説】本作品が生まれることになったのは、2015年に福島県の猪苗代湖を会場に行われた音楽フェス「オハラ☆ブレイク」がきっかけとのこと。「会場に来てくれた人に、短い小説を配れないか」そう依頼されて作られたのが、本書に収められた「1年目」です。以降、2016年に「2年目」、2017年に「3年目」といった具合に続編が書かれ、2021年に「7年目」が書かれ、その7つの本編に「プロローグ」と「エピローグ」を加筆し、全体を改稿してできあがったのが本書『マイクロスパイ・アンサンブル』です。伊坂の作品にしては短く薄い作品であるのは以上の理由からです。それでも伊坂のお家芸である「カットバック」手法によって、スパイたちが住む「あっちの世界」と、失恋男が住む「こっちの世界」とが交互に描かれながら、それぞれの世界が次第に交錯し始め、互いが互いの世界に影響を及ぼしあい、それぞれがそれぞれの幸せを願っていくという筋立てになっています。広告文にも「おとぎ話」とある通り、ファンタジー要素の強い作品ですが、現代社会を風刺しているような言葉や、社会人としてハッとさせられるフレーズが読者に評価されています。

【作者・伊坂幸太郎について】1971年千葉県生れ。1995年東北大学法学部卒業。2000年『オーデュボンの祈り』で、新潮ミステリー倶楽部賞を受賞し、デビュー。02年刊行の『ラッシュライフ』が各紙誌で絶賛され、好評を博す。03年に発表した『重力ピエロ』は、ミステリアン以外の読者からも喝采をもって迎えられ、一気に読者層を広げた。また『重力ピエロ』で、1970年代生れとしては、初の直木賞の候補となる。04年『チルドレン』、05年『グラスホッパー』、06年『死神の精度』が直木賞候補に。04年『アヒルと鴨のコインロッカー』で吉川英治文学新人賞受賞。洒落なユーモアと緻密な構成で読む者を唸らせ、近年稀にみる資質の持ち主として注目を浴びている。08年『ゴールデンランパー』で第5回本屋大賞と山本周五郎賞を受賞した。(参考:本書表紙裏の著者紹介文より)

7 世界遺産を巡る・・・第71回は慶州歴史地域(韓国)

(登録:2000年)

【解説】慶州歴史地域は韓国の慶州(キョンジュ)市周辺の古墳や史跡の総称です。2000年、世界遺産に登録されました。なお、同州の代表的遺物である石窟庵と仏国寺は1995年に韓国初の世界遺産として登録されました。慶州には、紀元前1世紀から10世紀まで、約1000年もの長きに渡り栄えた新羅(シルラ)王朝の都が置かれていました。そのため、この周辺には新羅時代の古墳や仏教関連の遺跡が多く見られます。慶州が「屋根のない博物館」と言われる所以です。慶州歴史地域は、大きく以下の5つの地域に分けられます。南山(ナムサン)地区・月城(ウォルソン)地区・山城(サンソン)地区・皇龍寺(ファリョンサ)跡地区・大陵苑(テヌンウォン)地区。全部を見ようとするととても広いのですが、レンタサイクルがあるそうなので、それを利用すると楽に見て回れると思います。鶏林の夜間のライトアップも綺麗だそうですよ。(参考:「世界遺産人気ランキング」より)



8 街角グルメを訪ねて・・・第71回は佐賀市の「黒酢チキン南蛮定食たかもとや」です。

2017年、熊本県植木町に1号店をオープン以降、九州エリアで展開している「たかもとや」。社長の高本康晃さんは、中学生のころから好物だったというチキン南蛮を多くの人に食べてもらいたいとの思いから、全国の飲食店を食べ歩き、肉の部位やタルタルの有無、衣の種類、揚げ方などを研究室漬け、開発した「黒酢チキン南蛮」は、ショウガや黒酢などで味付けした甘辛いたれ、米粉を使った衣が特徴です。その佐賀店が7月28日に「佐賀医大店」としてオープンしました。店主の玉利仁志さんは、鹿児島県出身。18年間、飲食業を経験した後、佐賀に移住。「夫婦で何か店舗運営したい」と一念発起し、「たかもとや」を出店したそうです。席数は、カウンター席、テーブル席合わせて30席。メニューは、「黒酢チキン南蛮」(880円)、「黒毛牛ステーキ定食」(170グラム=1,000円、270グラム=1,500円)、「黒酢チキン南蛮&黒毛牛ステーキ定食」(170グラム=1,680円、270グラム=1,930円)も人気です。この日は定番の「黒酢チキン南蛮」をいただきました。御飯とタルタルはお替り可能です。ガッツリ食べたい人にはおススメの店です。次回はステーキをいただきたいと思っています。住所は、佐賀市鍋島4-1-36 医大東ハイツ1Fです。



9 保護者の皆様へ・・・大型台風が近づいています。各家庭で万全の備えを。

大型台風11号が近づいてきています。明日6日に佐賀に最接近する予定ですので、先週末にご連絡していたとおり、明日を振替休日とします。各家庭で万全の備えをしてください。7日(水)の登校も安全を最優先してください。

【英語】He that would the daughter win must with the mother first begin. (娘を欲しいと思うなら、まず母親から始めねばならない)

【正解】(1) 任意〔人情・避妊・解任・忍耐・認可〕(2) 濃密〔濃霧・納品・首脳・有能・農業〕(3) 絶対〔体操・優待・連帯・怠慢・対立〕(4) 疾走〔湿地・疾風・失速・執筆・漆黑〕(5) 逆説〔雪辱・仮説・骨折・仮説・関節〕